



第1分科会

基調講演とパネルディスカッション

会場：ロームシアター京都
メインホール
サウスホール※映像配信

(テーマ) <よくできる>とはどういうことか？

—大学は、自分の可能性を見つける場である。

(趣 旨) 日本の生徒は、諸外国の生徒に比べて、「自分はある能力がある」という自尊心や自己肯定感を持つ割合が低く、自らの参加により社会をよりよく変えることができるという意識も低い傾向があります。これからの社会では、十分な知識・技能をもち、それを活用する思考力・判断力・表現力を臨機応変に発揮し、主体性をもって多様な人々と協力して学び、働く力、つまり「たのもしさ」を身につけることが求められています。

永田和宏氏の著書の「知の体力」には、「答えは必ずある」などと思ってはいけない。「勉強」で染みついた呪縛を解くことが、「知の体力」に目覚める第一歩となる。」とあります。

生徒たちがこれからの社会を生きていくにあたり、一人一人が学び合い、自らの知識を深め、自尊心や自分の可能性を伸ばすためには、全国各地の高校で、家庭で、そして大学で何をどう学んでいくことが一番大切であるのかについて、永田氏の講演とその後のディスカッションを通じて、改めて考える機会になればと考えます。

(内 容) 基調講演 パネルディスカッション

(講 師) 永田 和宏 氏

(京都産業大学学長特命補佐。総合生命科学部教授。タンパク質動態研究所所長。京都大学名誉教授。宮中歌会始詠進歌選者。紫綬褒章受賞。ハンス・ノイラート科学賞受賞。)

(パネリスト) 永田 和宏 氏, P T A(保護者) 2～3名, 校長 1～2名

(コーディネーター) 未定

第2分科会

小グループの意見交換会

会場：みやこめっせ 地階
日図デザイン博物館
第1展示場 A面※2会場で実施

(テーマ) 子どもたちを育む環境づくり

(サブテーマ) 地域社会の現状と次世代を見据えて

(趣 旨) 子どもたちの支援には、学校・家庭・地域社会が目標を共有して連携・協働することが大切なこととされています。この分科会では、連携・協働を目指すために、これまでの子育てを振り返って、子どもとぶつかったり感謝したりしたことについて意見交換をするとともに、地域の中で子どもを育てる上で、子どもとどのように向き合えば良いかを話し合います。

意見交換しやすいグループ人数としたリアンケート用紙を活用することで、全国から御参加いただく多くのP T A会員の方々と、和気藹々と意見交流をしたいと思います。

(内 容) 6人程度のグループで意見交換会(京・みやこカフェ)を行います。

グループの構成メンバーは、分科会途中でシャッフルし、参加者のみなさんが、1人でも多くの方と交流できるようにします。

(ファシリテーター) 京都府立高等学校P T A連合会口丹ブロック